

教団新報

定 価 1 部 144 円 (本 体 133 円 千 共 206 円)
予 約 購 読 料 1 年 分 千 共 5,150 円
紙 代 の み 3,600 円
振 替 00140—9—145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日 本 基 督 教 団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
一時移転先 169-0072 東京都新宿区大久保 1-7-18
電話 03(3202)0546、FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 長 崎 哲 夫
編集主筆 渡 邊 義 彦
印刷所 株式会社きかんし

教区総会報告

東北

関東

東中国

東京

奥羽

2015 年度

3

震災支援・伝道資金巡り議論



仙台青葉荘教会を会場に開催

震災、今後の課題を見据える

東北教区 第70回東北教区総会は、5月26日～27日、仙台青葉荘教会で開催された。正議員154名中115名出席。

総会全体を通して、放射能問題への関心が随所に寄せられ、東日本大震災からの歩みと、今後の課題を見据えることが重要視された総会であった。

小西望議長は、議長挨拶の中で、大規模改修を余儀なくされた19の教会の工事完了、14教会約1億5600万円の貸付が返済に向かうこと、放射能汚染により小高・浪江両伝道所の平常活動が再開できないことなどを報告した。特に2017年3月まで、教会救援復興委員会・被災者支援センター・放射能問題支援対策室への、教団や海外教会の継続支援が約束されている

が、その後も被災地の課題がなくなるわけではないことを確認した。

教団問安使挨拶において長崎哲夫総幹事は、「主は震災を通して、辛いことだけではなく、東北教区の諸教会、諸施設を身近に感じる機会を与えてくださった」と述べ、14年度3月で終了した10億円募金が達成

されたことに関しては、感謝と共に、今後の課題も視野に入れていることを明らかにした。貸付金返済の課題に不安を抱く声には、今後の教会の取り組みを考慮しながらも、「これから辛い時となるのではないかと考えている。十分なことができるかわからないが、今後の教団、教区の動きを

注目してほしいと答えた。

東日本大震災に関する件では、震災後、総会で可決されてきた基本姿勢を継続すること共に、更に状況の変化を踏まえ、少なくとも2017年度までの各年度教区総会において、進捗の確認、内容の適宜改訂を加えることが可決された。教団の教規に従う形を求

めて、2年かけて議案化された、「東北教区人事部」設置に伴う教区規則改定案は、その性格が議論された。保利隆副議長は、「依頼が来た時に応じるものである」と説明。責任の所在などの課題も議場から指摘される中、98名中80名の賛成で可決した。可決後、小西議長は、「重いことであるので、



東北

伝道資金削除の予算案修正を否決

関東教区 第65回関東教区総会は5月26日、大宮ソニックシティ・小ホールを会場として開催された。今総会は、昨年の総会で提起されたことに従って長年の慣習を変え、すべての議事に先立つて開会礼拝がなされた。開会時出席正議員273名中200名。

議事の冒頭で『日本基督教団久喜復活伝道所』開設に関する件が承認され、伝道所開設の喜びを分かち合うひとときとなった。

秋山徹議長は、議長報告で特に「関東教区は伝道資金が通常の教団負担金に加えて450万円余負担金増額され、この資金をどのようにに生み出し、活用しているか、また『ナルドの壺献金』とどのように整合させ有効に機能させるか等、大

きな課題がある。各教会・地区との綿密な協議、今総会での決議を経て、2015年度は暫定的に教区的な伝道対策と教会支援のためとに配分を受けるよう申請すると共に教区活動の経常支出を抑えて節約に努め、各個教会の負担金を増やさないように緊急の予算案を提示し審議する」と述べた。

また「東日本大震災」復興支援報告、「教区伝道を共に考える懇談会」を開催。伝道資金の運用、ナルドの壺献金、教区の伝道協力について理解を共有した。

佐々木美知夫教団副議長の問安使挨拶では、「東日本大震災救援募金の用い方」「伝道資金規則」等を巡って活発な質疑応答がなされ、「東日本大震災救援募金に今まで献金をささげた教会とその金額、また再建し

た教会からのお礼と援助内容を全国の教会に知らせる報告書を作成してほしい」との意見に対して、佐々木副議長は「心に留めておく」と述べた。

各議案は協議を深めるため4つの分科会に回付され、その報告を受けて審議された。『ナルドの壺献金』推進の件」「韓国基督教長老会京畿中部老会よりの交流訪問募金」に関する件」「2015年度教団部落解放センター活動献金」推進の件」「関東教区『東日本大震災』被災支援に関する件」「関東教区教会互助規則変更に関する件」等可決された。

特に「伝道資金規則」に対し「教団総会で予算計上すべきである。2015年度関東教区一般会計当初予算

に計上されている伝道資金負担金450万5千円及び伝道資金交付金410万円の項目は削除し、収入合計を410万円減額、支出を450万5千円減額とする」として「2015年度関東教区一般会計当初予算に関する修正案」が提出されたが、「教区活動連帯金」制度が破綻し、教区を超えた形の『伝道資金規則』が可決された。関東教区が協力しないなら他教区が活動できなくなる「予算は2月教団常議員会で出て来た。7月補正予算として協議する」等意見があり、171名中87名の反対で否決(賛成64名、保留20名)、15年度予算案は原案通り可決された。

准允式が執行され、主の委託に応えるべく補教師1名が祝福の内に立てられ



関東

た。また逝去者追悼礼拝では1年間に逝去された教職、信徒の名が朗読され、祈りに覚えられた。

四役選挙結果

【議長】秋山徹(上尾合同)、【副議長】熊江秀一(新津)、【書記】栗原清(武蔵豊岡)、

【書記】栗原清(武蔵豊岡)、



左から、熊江副議長、秋山議長、飯塚宣教部委員長、栗原書記

なお慎重に運用すべきである」ことを付言した。

また、教区三役選挙は現役再選。宣教部委員長に高橋真人議員を選出。3名の按手受領を報告承認し、5名の准允式が執行された。その他、会津地区の協議・合意を踏まえ、常置委員会から提案された只見伝道所の廃止が承認された。

更に、1日目の夜には協議会が行われ、被災者支援センターや放射能問題支援対策室からの発題がなされた。今年度新たに設けた質

疑応答では、発題に関してだけでなく、各教会の具体的な現状を話し合った。

三役選挙結果

【議長】小西望(仙台北)、【副議長】保利隆(仙台東一番丁)、【書記】石井佑二(山形本町)

常置委員選挙結果

【教職】長尾厚志(仙台北サナ)、宮島星子(石巻栄光、原裕(天童) 【信徒】遠藤道雄(福島伊達、石原裕子(常磐、高橋嘉男(名取) (佐藤 進報

【宣教部委員長】飯塚拓也(竜ヶ崎) 常置委員選挙結果

【教職】小池正造(東新潟、東野尚志(聖学院、島田進(日立、正田國麿(大宮、村田元(群馬町) 【信徒】金刺英雄(上尾合同、佐久間文雄(志木、滝川英子(七里、國吉常喜(宇都宮上町、勝野幸幸(大宮) (松本のぞみ報

荒野声

「ぶどうの実を採るのは紫色になってから。園児たちがまだ色づいていない実を採ってしまったことに教師が一生懸命教えている。だが我慢できない。▼小欄子供たちの話題が続き恐縮だが、仕える教会に幼稚園があり生き生きとした話題に富んでいる。子供たちの間に起ることを思い巡らしてみると、信仰的、神学的に考えるべきことが多くあるように思う。主は、幼子のようにならなければ天の国に入ることではない、と言われた。▼まだ言葉が十分ではない子、言葉よりも先に手が出てしまう子もいる。言葉が彼らのものとなり行動を導くには、もう少し時間がかかる。しかし、教師は言葉を重んじる。咄嗟に手を出さなくてはならないような事でない限り、教師は言葉で伝えようと努力する。どんな子にも言葉が通じると信じ忍耐をもって繰り返して伝える。『ぶどうは色づいてから』。▼1教区を残して教区総会取材を終えた。当方から取材に赴くことのできた教区もあれば、適わなかった教区もある。短い記事には文字になっていないが、議場にて言葉で共有されたことも、依然として平行線であることが確認されたこともあったはずだ。野次や怒号、力や暴力ではなく、言葉で表現されたルールを守り、言葉では是非々を決める。言葉を与えられている尊さを感じる。

前三役辞任を受け選出について議論

東中国教区 5月25日、第64回東中国教区総会が鳥取教会を会場に開催された。総議員89名中69名の出席で成立。

初めに異例のことであったが、議長報告に代わって常置委員会報告がなされた。これは前年度中に教区三役すべてが辞任し、残任期間を担う新三役に交替したという事態を受けてのことであった。

その中で以下の2点に議論が集中した。

①伝道資金を申請しないことを決めた常置委員会決定を変更し、申請することに至った経緯。②常置委員会による残任期間を担う議長選出が、規則にある常置委員間の互選ではなく、地区長からの選出であるのは何故か。

①について、嵐議長は、『教団新報』に載った記事によって伝道資金に対する理解が変わり、状況が変わった。常置委員会に新たに

提案したことをもって議案としての性格を持ち、伝道資金申請することを決議したと理解している。②については、常置委員の諸事情を勘案した時に、常置委員からの選出ではなく地区長からの選出が望ましいとの結論に達した」との説明を行った。

その後、諸議案が上程され、審議される中で、新しい総会期を担う三役選挙が行われた。

夕食休憩後、伝道資金に関わる懇談会を開催。佐々木美知夫教団副議長は、日本基督教団伝道資金制度について「の文書をもとに、大要次のように説明した。

①伝道資金制度は、教区議長間の話し合いによってこれまで為されて来た教区活動連帯金の行き話まりによって始まったこと。②全教団的に伝道の推進・協力を行い、各教区が教団全体の伝道を覚えて祈り合う信仰共同体を形成するもので

あること。③制度として未だ十分に整えられていないが、教団総会が可決したもので、実施するに際しての課題については今後整えながら進めて行くこと、などである。問安使との質疑応答は以下要約。

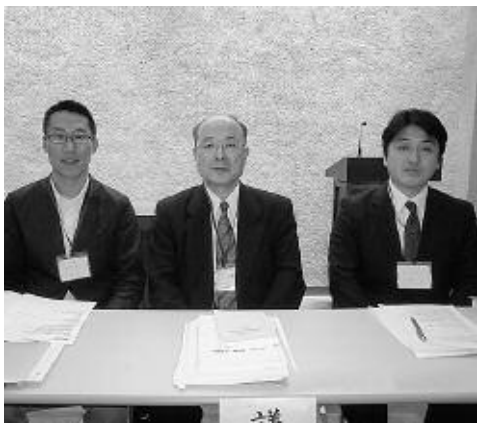
【意見】運用指針第6項に「未受洗者配餐を行っていない教会・教師は応募出来ない」とある。未受洗者配餐に対する批判の気持は同じだが、その事実を踏絵とし

て応募出来なくすることに疑問がある。

【問】伝道資金で使い切れなかった額は返金するのか。【答】教団と相談して欲しい。

【問】規則第8条(教会士)が、そのことに対する疑義が議場から出され、木下宣世議長は「前議長の方法を踏襲しており、三役、常置委員会報告の一部としての議長報告という位置づけであるので、書記の代読が適当である」と引きずられて

「国会での安保法制の議論の中で、平和を脅かすような議論がなされているが、このことに対してどう考えているか」という問いに対し、個人的な見解として議長は「今この国は大きな岐路に立たされており、戦争の出来る国へと引きずられて



左から、中井書記、嵐議長、大塚副議長

負担金大幅増額について意見

東京教区 5月26日、富士見町教会を会場に、第74回東京教区定期総会が開催された。開会時の議員数は、5000名中328名であった。

法定議案と、三役、常置委員選挙のほか主だった議案は用意されていない総会は、一日の日程で行われた。

総会終了予定時刻は午後9時であったが、午後4時過ぎに全ての議事が終了し、そこから約1時間常置委員選挙の開票作業を待ち、選挙結果発表後の午後5時に、終了予定時刻から約4時間早まった時刻で総会は終了となった。

総会冒頭来賓挨拶において、在日大韓基督教会関東地方会会長である金根堤牧師は、ヘイトスピーチによって傷つけられた人々への執り成しの祈りを求めた。その後、諸報告から本格的に議事が開始された。東京教区では通例、議長

報告を書記が代読するのだが、そのことに対する疑義が議場から出され、木下宣世議長は「前議長の方法を踏襲しており、三役、常置委員会報告の一部としての議長報告という位置づけであるので、書記の代読が適当である」と引きずられて

「国会での安保法制の議論の中で、平和を脅かすような議論がなされているが、このことに対してどう考えているか」という問いに対し、個人的な見解として議長は「今この国は大きな岐路に立たされており、戦争の出来る国へと引きずられて

「国会での安保法制の議論の中で、平和を脅かすような議論がなされているが、このことに対してどう考えているか」という問いに対し、個人的な見解として議長は「今この国は大きな岐路に立たされており、戦争の出来る国へと引きずられて

「国会での安保法制の議論の中で、平和を脅かすような議論がなされているが、このことに対してどう考えているか」という問いに対し、個人的な見解として議長は「今この国は大きな岐路に立たされており、戦争の出来る国へと引きずられて

「国会での安保法制の議論の中で、平和を脅かすような議論がなされているが、このことに対してどう考えているか」という問いに対し、個人的な見解として議長は「今この国は大きな岐路に立たされており、戦争の出来る国へと引きずられて

「国会での安保法制の議論の中で、平和を脅かすような議論がなされているが、このことに対してどう考えているか」という問いに対し、個人的な見解として議長は「今この国は大きな岐路に立たされており、戦争の出来る国へと引きずられて



地取得のための貸付金の理解について。【答】「2015年度伝道資金運用指針」に明記されているように、今年度は貸付資金は運用しない。

翌日9時に議事が再開。出席議員62名。常置委員会報告の審議では、「東中国教区の将来に関わる論議をしたい」との意見も出された。また、東日本大震災救援対

策本部からの報告を飯島信教団担当幹事が行った。午後後は時間延長をし、会計監査報告と決算、負担金算出賦課案、2015年度教区歳入歳出予算、緊急議案(沖縄の県民の声を尊重して下さい」と声明「国会への『安全保障関連法案』の提出に抗議し、撤回を強く求めます」等、全ての議案が承認された。

【議長】嵐護(琴浦)、【副議長】大塚忍(岡山)、【書記】中井大介(倉敷) 常置委員選挙結果

【教職】柴田彰(倉吉)、田中寿明(天城)、森嶋道(湖山)、奥田望(上井) 【信徒】松田章義鳥取、濱上進(倉敷水島、土井しるふ(総社) (飯島 信報)

39回教団総会では、信仰の一致による伝道協力が掲げられた総会であり、信仰の一致と教区間財政互助は重なっていると理解する」と応じた。

その他、予算審議の中で、「伝道師を受け入れたため経常会計が増額となり、負担金が約45パーセントの増額となっている。これ以上

の負担は困難であり、何か配慮が必要ではないか」という質問がなされ、鈴木功

男財務委員長より「今年度の負担増額の最高は75パーセント増額である。反し、減額の教会も多々ある。補教師養成、小規模教会を支えるということは恵みであるという発想に立てば、教会にとって負担増は必ずしもマイナスなだけではない。理解をいただきたい」という答えがなされた。

三役選挙結果

【議長】岸俊彦(経堂北、南坂、物井恵一(小松川) (小林信人報)

【副議長】渡邊義彦(柿ノ)

【議長】岸俊彦(経堂北、南坂、物井恵一(小松川) (小林信人報)

【副議長】渡邊義彦(柿ノ)

【議長】岸俊彦(経堂北、南坂、物井恵一(小松川) (小林信人報)

キリスト教センター運営主体が白紙に

奥羽教区 5月26日、第70回教区定期総会が、奥羽キリスト教センターを会場に開催された(開会時の出席は正議員112名中105名、准議員27名中5名、推薦准議員6名)。

議事の始めに「准允受領願いの件」が満場一致で承認され、直ちに准允式が行われた。

本総会では教区三役・常置委員選挙が行われ、三役

がそれぞれ再選され、また新しい常置委員が選出された。東日本大震災5年目の歩みの中、被災地・被災教会復興支援のための働きを継続していくこととなる。

2015年度教区宣教計画、同経常会計予算案・教区負担金割当案が承認された。また予算案審議に先駆けて教区経常会計款項目変更が承認された。これは教区活動連帯金廃止と教団伝道資金制度制定に伴うもの

であるが、教団伝道資金の今後の動向によっては教区教師謝儀互助制度へ大きな影響が出ることも予想され、予算案審議の中でもその不安が語られていた。

「教区規則変更に関する件」では、奥羽キリスト教センター運営責任主体を教区内の土沢教会に移譲したことが白紙となったことに伴い、第68回教区総会では、第68回教区総会にて可決したことの意味が大きく、「世に在って、世を愛し、

世に仕えることを目指し、困難な中にあっても互いに支え合い、助け合う「二つなる教会」としての歩みを進めていく。

教団問安使の長崎哲夫総幹事による挨拶の質疑では、沖縄教区との関係回復を早急に進めて欲しいとの意見が多く出され、また、現在の社会状況を踏まえた声明を教団総会議長より出して欲しいとの要望が出された。



左から、白戸副議長、邑原議長、松浦書記

三役選挙結果

【議長】邑原宗男(江刺)、(奥中山)、村岡博史(弘前)

【副議長】白戸清(野辺地)、浅沼千春(秋田桜)、久保征紀(奥中山) (松浦給介報)



左から、渡邊副議長、岸議長、伊藤書記

木坂、【書記】伊藤英志(三軒茶屋)。いずれも新任。

常置委員選挙結果(半数改選)

【教職】大三島義孝(碑文谷、大友英樹(赤羽)、小橋孝一(新島、木下宣世(西千葉、中村公一(高輪)

【信徒】鈴木功男(目白、奥山盾夫(千葉本町)、黒沢咲子(下谷、井川重夫(霊南坂、物井恵一(小松川) (小林信人報)

▼教育委員会▲

青年担当者会・教育担当者会・セミナー日程を決定

6月8日～9日に教団会議室で第39総会期第2回教育委員会を行った。委員の出席は6名。前回議事録承認の後、諸報告を受けた。事務局報告、「教師の友」編集委員会報告、全国教会幼稚園連絡会報告、宣教協力学校協議会報告、宣教委員会報告、常議員会報告、東日本大震災救援対策本部報告を受けた。その他、教会学校応援セットを送った教会を訪問した委員から報告がなされた。

その後、協議事項について話し合った。2014年度決算を承認した。第5回教区青年担当者会は9月7日～8日に神戸栄光教会で行う。プログラムと役割分担、案内文などについて話し合った。全国キリスト教教育主事の会へ活動援助金として2万円支出する。教区教育担当者会と教会教育セミナーは2016年2月1日～2日に高知教会で行う。2日目に清和学園中高を訪問する。教会教育セミナーの講師は寛伸子委員でペンテコステの楽しい祝い方について話してもらう。台湾基督長老教会との青年交流プログラム、台湾ユースミッション2016に誘うが、世界宣教委員会に共催をお願いをする。野口幸生委員、荒井偉作委員で内容を話めて進めていく。2014年度クリスマス献金は、東北教区放射能問題支援対策室いずみ、ブラジルノヴァ保育園、レバノンのシユネフー学校にそれぞれ200万円ずつ献金する。(有澤慎一報)

▼教師養成制度検討委員会▲

10年目の教師研修について検討

第39総会期第3回の教師養成制度検討委員会が4月20日、教団会議室で行われた。前回の委員会を確認した。委員会の3つの課題についてさらに検討した。すなわち、(1)神学校との協

議、(2)教師検定、(3)生涯教育。 (2)の教師検定に関しては、答申書にある教師検定に関する提言をさらに具体的に検討するため、教師検定委員会委員長、書記に必要に応じて、検討し

た。現在教団では新任教師オリエンテーションが実施されているが、新任後10年研修の可能性について教師委員会に検討を依頼することとした。(1)の神学校との協議に関しては当日委員会後、東京神学大学の教師4名と、委員会主催の懇談会の時を持った。

第4回の委員会は、6月5日ルーテル東京教会において行われた。委員会冒頭で教師検定委員会委員長、書記の出席を求め、懇談の時を持った。教師検定試験の現状についての認識を確認し、答申書の教師検定への提言をめぐり協議した。

懇談後、(1)神学校との協議について検討した。東京神学大学の教師との2回目の懇談の時を7月にもつこととした。他の認可神学校に対しても答申書の説明に

宣教委員会

伝道協力の実質化のために

米倉美佐男

宣教委員会の働きは教規第41条に記されている。(1)宣教基本方針と(2)宣教の総合活動に関する事項、(3)教区の宣教関係委員会との協力及び連絡、そのために宣教方策会議を開催(原則、各総会期教団総会のない年)するの

委員会コラム

伝道協力を第39総会で訴えられた。当委員会はこれを支持し、全教団的にこれを実質化して行きたいと願っている。単なるスローガン、アドバランを上げて終わりにしてはならない。宣教方策会議のテーマも決定ではないが「日本基督教委員会」である。

◆あつまろう 全国信徒会再結成第1回大会◆

全国信徒会、半世紀ぶり再結成

6月9日午後1時30分から、富士見町教会において開催された。信徒、教師212名が出席、祝福に満ちた大会となった。

この日に至るまでの経緯を紹介しよう。全国信徒会は1941年日本基督教団創立の年の秋に組織、戦後再出発、活動途上において教団紛争によりその実体を失った。

以来半世紀、先人たちの祈りを受け継ぎ、39回教団総会において開催された「再結成発起人会」は再結成を決議、第1回大会開催を東京信徒会に委託した。東京信徒会は、本大会の歴史的意義を復活とペンテコステに重ね合わせ、聖餐の恵みに与りたいと願った。伝道推進室は大会の後援を決め、藤盛勇紀牧師を

礼拝式・聖餐式執行に派遣することを決めた。プログラムは充実した内容となった。

【礼拝・聖餐】藤盛勇紀牧師(富士見町)【挨拶】望月克仁会長【来賓祝辞】石橋秀雄教団議長、山北宣久前教団議長【記念講演】阿久戸光晴牧師(滝野川)【全国信徒会総会】【記念撮影】

【まじわり】藤盛牧師は説教で、キリストと共に復活させられた者は、共に天の王座に着いた者。全国信徒会が、天から遣わされている者たちの出発として祝されるように、と語った。

祝辞は現議長と前議長。山北前議長は日本伝道150年信徒大会準備の時初めて「日本伝道」の言葉を述べて火種を起し、石橋議長は火種に油を注いで「伝道に燃える教団」とと呼び。小林貞夫氏は両議長に伝え、この日を望みつつ召された。阿久戸牧師は「生きた石として霊の家を建てる使命―神の民の献身―」と題して語った。神の教会における信徒の重要な役割には3つある。①信徒の祭司として、②信徒の預言者として、③王の職務のお手伝いの役割。この3つに信徒がダイナミックに関わっていくと、教会が再建されると強く結んだ。

(鈴木功男報)



上野 淳氏 (隠退教師)



15年4月7日逝去、88歳。京都府に生まれる。54年同志社大学大学院卒業。同年より梶泉、稚内、江別教会を経て96年に隠退。遺族は妻・上野宏子さん。

大野かをる氏 (隠退教師)



15年4月5日逝去、91歳。大阪府に生まれる。53年日本基督教神学専門学校卒業、翌年より尾張一宮若草、桜木教会を牧会し、活水学院に勤務。95年より河内長野教会を牧会した後、北陸学院短期大学に務め、07年に隠退。遺族は妻・井上頼子さん。

井上良彦氏 (隠退教師)



15年5月25日逝去、86歳。大阪府に生まれる。53年日本基督教神学専門学校卒業、翌年より尾張一宮若草、桜木教会を牧会し、活水学院に勤務。95年より河内長野教会を牧会した後、北陸学院短期大学に務め、07年に隠退。遺族は妻・井上頼子さん。

扇田幹夫氏 (隠退教師)



15年4月22日逝去、77歳。秋田県に生まれる。63年同志社大学大学院卒業。同年より平安教会を牧会し、69年より神戸女学院に務め、03年に隠退。遺族は妻・扇田紀子さん。

太田光夫氏 (七里教会主任)



担任教師) 15年4月30日逝去、64歳。茨城県に生まれる。91年受允、93年受按。91年より東梅田、多度津、丸岡、水海道を経て七里教会を牧会。遺族は妻・太田玲子さん。

☆教会幼稚園融資金募集☆

幼稚園の土地拡張、増改築、新築のため、幼稚園融資金2015年度分を次の要領で募集します。

◎金額 50万円～300万円

◎返済期限 5年以内

◎利子 期限内 年1% 期限後 年2%

2015年度は総額600万円を2～3の教会幼稚園に貸し出します。希望幼稚園は、教区事務所を通して教育委員会まで申し込んでください。締切は8月31日。融資規定、申請書は教育委員会 (☎ 03-3202-0544) へ。

